

新年のごあいさつ



越前町長

関 敬 信

新年あけましておめでとうございます。皆さまには、ご家族おそろいで輝かしい新春をお健やかに迎えに上がったことと、心からお慶び申し上げます。また、旧年中にたまりました心温まる励ましとご叱正に感謝申し上げますとともに、町政の推進に格別のご理解、ご協力をいただき厚くお礼を申し上げます。

さて、2011年、今年こそは良い年でありたいと、誰もが願わざるを得ません。激動、波乱、危機、貧困、雇用不安、再生、変革、こんな言葉は何度使ったことか。国民の期待を担って華々しくデビューした鳩山内閣は短命の8カ月あまりで舞台を降り、日本を根本から立て直すと宣言して誕生した菅内閣は、ねじれ国会のなか相次ぐ大臣の失言問題もあり、昨年9月には第2次菅内閣が発足しました。政権交代から1年あまり、国民が1票に託した期待に応えているとはとても言い難い状況にあります。

す。わが国を覆う閉塞感を打ち破り、展望を持つて時代を切り開いていくには、困難に立ち向かう気概と英知創造力を備えたリーダーが求められます。

政治、経済、社会が混迷し先行きの不透明ななか、地方は高齢化や過疎化、財政難や経済の疲弊など難局に直面しています。コミュニティの維持さえ危うい「限界集落」も少なくありません。一方、農山漁村には都会にない人と人とのつながり、絆があります。人と人とのつながり、交流、連携こそ、これからの地域を支える最も重要な社会資本です。昨年6月に政府が採択した「新しい公共」宣言は、人や地域のきずなを取り戻す重要性を指摘しています。幸い、越前町には、相互扶助の精神がまだまだ残っています。越前町が4月より導入予定の「地域コミュニティ構想」は、まちづくりの推進母体として、合併前の旧町村に住民代表による運営委員会を設け、町から運営



越前町議会議長

吉 村 春 男

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、お健やかに輝かしい新春をお迎えになられたことと、心からお喜び申し上げます。旧年中は、町議会の活動に温かいご支援とご理解を賜り、厚くお礼申し上げます。

今後も、町民の皆様方の負託にお応えすべく、一層の努力をいたす所存でありますので、更なるご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。さて、改めて昨年を振り返ってみますと、国内における主要な国際会議として、10月には今後10年間の世界の環境保全の未来を左右するCOP10が約8,000名参加のもと、名古屋市で開催され、11月には横浜市でアジア太平洋の20の国・地域の代表を迎え、8日間の日程でAPPECが開催され、貿易・投資の自由化、ビジネスの円滑化、経済・技術協力などの話し合いが行われました。

一方、国政においては、国が総力をあげて取り組んだ景気対策は、日銀介入

の効果もあまりみられず、円高・株安が続き、依然として低迷しています。失業率は僅かながら改善されてきて

いるものの、就職活動は、就職氷河期の再来と言われ、厳しい雇用情勢が続いております。景気浮揚は、国民生活に直結する喫緊の課題であり、一日も早い回復が待たれております。

また、財政再建や関税をほぼ例外なく撤廃し、貿易自由化を目指すTPPの農業問題、韓国との竹島問題、ロシアとの北方領土問題、さらには中国との尖閣諸島問題など、多くの外交課題が山積しております。

このような状況の中、本町においては、公共施設の廃止を含めた整理統合や、指定管理者制度の導入による行政のスリム化、維持管理費の削減など、行政改革が実行されております。

財政の健全化に向けては、実質公債費比率など、財政健全化を判断する財政指標は大幅に改善されておりますが、長引く景気の低迷により、法人税などの税収も落ち込み、国からの交付税に

委員会に対して自由に使える財源を交付し、実情に合った地域づくりに活かしていく全国でも先進的な制度でございます。地域のことは地域で考える。権限と財源をもつ運営委員の活動が発展すれば、地方分権ならぬ域内分権が進むこととなります。いま、各地区では、住民自身が地域の目指す方向性を自ら決め、主体的にまちづくりをすすめるための熱のこもった議論、新しい風が吹き始めています。

新しい年明け、皆さんはどのような気持ちでお迎えでしょうか。政権がどのように変わろうとも、改革の主役は市町であり、国から都道府県へ、都道府県から市町へと権限や財源、人員を移す改革の流れは、今後ますます加速します。「地域の事は地域で決める」という地方自治の原点を住民が改めて問う一年になりそうです。その意味で、引き続き行財政改革を力強く押しすすめ、足腰の強い越前町を目指したいと考えています。そのことが、次の大きな飛躍へとつながるからです。

年頭にあたり、町民の皆さまのますますのご活躍とご健勝を心から祈り申し上げ新年のご挨拶といたします。

依存しなければならぬ体質は変わらず、今後も更なる財政の健全化に向けた自助努力が必要であります。議会といたしましてもしっかりと検証していきたいと思っております。

昨年は人工芝ホッケー場管理棟、越前町生涯学習センター糸生分館等の整備をはじめ、災害時における地域現況の迅速かつ的確な把握のため、デジタル防災行政無線設備整備工事が着工されております。

また、2月には宮崎コミュニティセンター建設、越前コミュニティセンター改修が完了予定であり、織田コミュニティセンターの建設に関しては本年中の着工を予定するなど、各地区のコミュニティセンター施設の整備が継続的に行われております。

町政の取り組みべき課題は、行財政改革、地域整備、環境対策、教育や福祉など多岐にわたっています。

議会といたしましても、住民ニーズを念頭におき、町執行部と互いの知恵を出し合いながら、限られた財源を有効に活用し、町政発展に全力で取り組んで参る所存であります。

町民の皆様には、これまで以上に、議会に対するご意見や、更なるご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。迎えました新年が皆様にとりまして素晴らしい年でありますようご祈念いたします。年頭のごあいさつといたします。